パートナーシップ・ファミリーシップ制度啓発講演会

「誰一人取り残さない社会」に向けて

～性の多様性・LGBTQ+について知ろう～

入場無料

講師：宮城教育大学非常勤講師・日本学術振興会特別研究員
　　勝又　栄政さん
日時：令和7年5月30日（金）14時～16時
場所：土佐清水市立 中央公民館 3階多目的ホール

講師紹介

出生時の性別は女性、性自認は男性のトランスジェンダー当事者。幼少期より性に違和感を感じ19歳で周囲にカミングアウト。以後、胸の手術や改名を経て、今は男性の立場で社会生活を送っている。大学卒業後、就労移行支援の仕事を経て、現在は宮城教育大学非常勤講師、日本学術振興会特別研究員として、「トランスジェンダーとその家族」に焦点を当てた研究を行う。著書／論文に、『親子は生きづらい～トランスジェンダーをめぐる家族の物語～』金剛出版、「トランスジェンダー男性の子を持つ父親の「受け容れ」をめぐる経験」『家族社会学研究』などがある。

誰もが安心して暮らせる、より豊かなまちに

土佐清水市は、一人ひとりの性的指向・性自認（SOGI）が尊重され、それぞれの個性や生き方を互いに認め、支え合うまちづくりをめざして、令和４年６月１日にパートナーシップ・ファミリーシップ制度をスタートし、３年がたちます。

「パートナーシップ制度」とは、お二人の性別にかかわらず、婚姻と同等の関係性であることを市が証明する制度のことで、「ファミリーシップ制度」は同居する子どもも併せて家族であると証明します。

『土佐清水市』は、すべての人がお互いの違いを認め合い、誰もが自分らしく安心して暮らせるまちをめざしています。

★問合せ先：土佐清水市役所じんけん課　☎82-1124 ✉jinken@city.tosashimizu.lg.jp